

【聞く×考える】

40 怪談

解答例／解答のポイント

LEVEL 1

解答

- a: 彩・健太 b: 白い服の幽霊 c. 彩・健太・白い服の幽霊 d: 白い服の幽霊  
e: 健太

LEVEL 2

解答例

物語の最後で、健太の「だって彩は、3年前に、もう…」という言葉の直後、彩が消えるということから、「忘れていたこと」とは「実は身近な人や自分自身が、すでに亡くなっている（幽霊である）という事実」だと考えられます。

解答のポイント

- 「だって彩は、3年前に、もう…」という健太の言葉に注目しましょう。
- その後、彩の姿が消えたことや、健太は一人、墓地を後にしたことに注目する必要があります。
- これらのことから、彩がこの世にもういないことを忘れていた、と解釈することができます。

LEVEL 3

解答例

3年前に、彩が事故か病気などで亡くなるという形で別れてしまったと考えられます。しかし健太は彩のことが忘れられず、3年経った今も一緒に行動しているつもりになっているのかもしれない。

解答のポイント

- 「だって彩は、3年前に、もう…」という健太の言葉に注目しましょう。
- 彩が亡くなった理由、2人で肝試しをした理由などの考察は自由ですが、物語の展開や描写とつながる内容であることが大切です。
- 健太が「だって彩は、3年前に、もう…」と言いかげ、その直後に彩の姿が消えたということから、彩は人間ではなく、健太の前に幽霊として現れていたことが考えられます。健太は、その事実を受け入れられずに、彩が生きているかのようにふるまい、今回も肝試しに誘って「デート」をしていたのかもしれない。